

日本尺八演奏家ネットワーク(JSPN)presents
<ワンテーマ・オンライン尺八レッスン>
導入マニュアル

1. 準備

<必要なもの>

- ・スマホ、タブレット、パソコンのいずれか
- ・マイク、スピーカー（内蔵されていない機器の場合のみ）
※スマホ、タブレットは内蔵されています。ノート型パソコンも内蔵されていることがほとんどです。デスクトップ型パソコンの場合はご自身の機器をご確認ください。

<あると便利なもの>

- ・それぞれの機器に対応した外付けマイク、スピーカー
- ・マイク付きヘッドホン、イヤホン
※スマホ、タブレットや内蔵型パソコンの場合はなくても全く問題がありません。より良い音環境でレッスンしたい方はご自身でご準備ください。

<確認しておくこと>

- ・Wifiなどの通信環境が必要になります。通信プランによっては高額な通信料が発生する可能性もありますので、ご自身の通信契約をご確認ください。
※普段 YouTube などの動画サイトを長時間見ても通信料や回線速度がおかしくなったことはない、といった方はおそらく大丈夫と思われます。どうしてもわからない方、ご不安な方はご契約の通信会社にお問合せ下さい。通信料や通信速度に関するトラブルには応じかねます。

2. アプリのインストール・登録・設定

- ・Skype または LINE をインストールしてください。
- ・アプリを立ち上げ、指示に従って登録と初期設定をしてください。
- ・アイコン画像（自分の個人画像登録のこと）は、必ずしも自分の写真である必要はありませんが、わかりやすいものを設定いただくとやり取りに便利です。例えば「白い犬のアイコンです」と伝えれば相手があなたを同定しやすくなります。
- ・LINE の場合は ID 検索を許可する設定をしてください（→3ページ）。これをしておかないと ID を伝えても相手側で検索してあなたを見つけることが出来ません。

3. レッソンの予約

JSPN ホームページまたは JSPN 事務局へメール(jspn.sec@gmail.com)で受講希望の旨をお知らせください。メールの場合は以下をご明記ください。

- ・あなたの氏名、電話番号、住所、メールアドレス
- ・サポーターナンバー（サポーターの方のみ）
- ・受講希望の講師名とテーマ
- ・希望のアプリ（Skype・LINE）
- ・（アプリの設定がお済みの方）アプリの登録名（Skype 名、LINE ID など講師があなたを検索できるもの）
- ・受講希望の日時

※メールアドレスは Skype、LINE 登録に使用したものと同じものをご記載ください。(ID で検索が上手くいかなかった場合、電話番号やメアドでも検索できるようにするため)

※希望日時はできるだけ幅広くお知らせください。また、ご希望に沿いかねる場合もございますのでご了承のほどお願い致します。(例)「火曜日から日曜日の 13 時～18 時の間」

※サポーター同時入会で割引適用になります。ご希望の方はその旨書き添えてください。

- ・事務局より講師へ取り次ぎますので、講師からの連絡をお待ちください。
- ・レッスン日時と内容の詳しい打ち合わせは講師と直接行ってください。
- ・申し込み時点でアプリの設定が済んでなかった方は、設定が済み次第、登録名 (Skype 名、LINE ID など講師があなたを検索できるもの) を講師にお知らせください。

※楽譜の複製は法律で禁止されています。ご自身でご準備ください。「〇〇という曲を習いたいので楽譜をメールで送ってください」等には原則的に応じかねます。楽譜の入手方法がわからない場合は講師にご相談ください。

4. 事前にできること



: LINE

講師との打ち合わせ時に「友だち追加」しておくことで当日の接続がスムーズです。講師と LINE ID や電話番号で「友だち」になり、文字メッセージの「トーク」などでやり取りのテストをしておきましょう。



: Skype

音声テストをしておくことをおすすめします。

検索ボックスに「echo123」と入力し、「Echo / Sound Test Service」と通話開始します。新規にインストールされた方は最初から連絡先に入っていることもあります。「Skype テスト通話」という名前の場合もあります。Skype 提供の公式サウンドテストアカウントで、自動音声のガイダンスに従って音声テストができるようになっています。マイクやスピーカーの音量調整をしておく、より良い環境でレッスンが受けられます。

※現在 (2020 年 4 月時点) ではカメラテストには対応していません。音声テストのみです。

5. ビデオ通話の開始

- ・レッスンができる状態にセッティングしてお待ちください。(効果的にレッスンを受けるためのセッティングのコツ→7ページ)
- ・電話ができる状態にしておいてください。接続が上手くいかない場合は電話でやりとりします。
- ・予約した時刻ちょうどに講師へビデオ通話を発信してください。(ビデオ通話の発信方法→4, 5ページ)

6. レッスン終了後

JSPN 事務局より郵便振替用紙をお送りしますので、レッスン料をお振込みください。



LINE ID 検索許可の設定方法

※iPhone 版の画面です。実際は OS や機器によって表示が異なる場合があります。

※相手と友だち追加・やり取りが完了しましたら、ご自身のご希望に応じて設定を戻してください。(このままでも支障はありません。)



①画面下部の「ホーム」タブをタップしてホーム画面を表示させる

②ホーム画面で左上部の歯車マークをタップ。



③「プライバシー管理」の項目をタップ。



④「ID による友だち追加を許可」を ON (緑色が点灯した状態)、
「メッセージ受信拒否」を OFF



:LINE でのビデオ通話の仕方

(※iPhone 版の画面です。実際は OS や機器によって表示が異なる場合もあります。)



①画面下部「ホーム」のタブをタップしホーム画面を出す

②「友だち」をタップし、友だちの一覧を出す

③一覧から目的の人を探してタップする

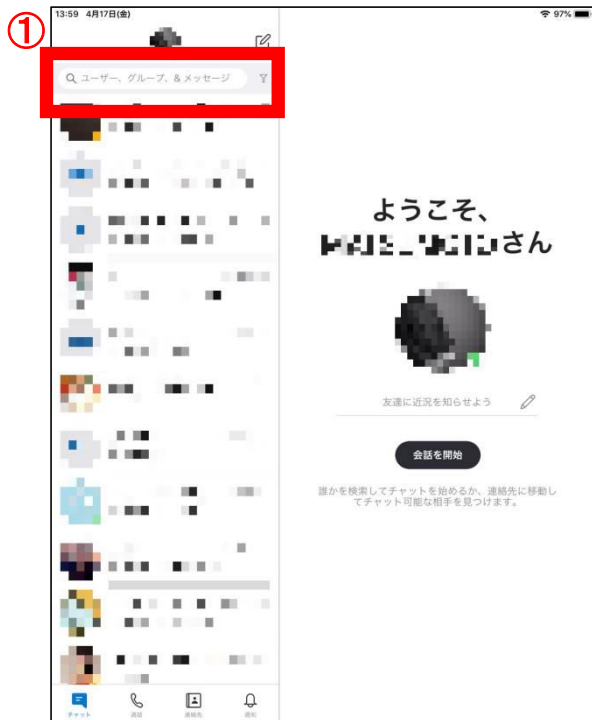


④個人の画面が出るので、「ビデオ通話」をタップする

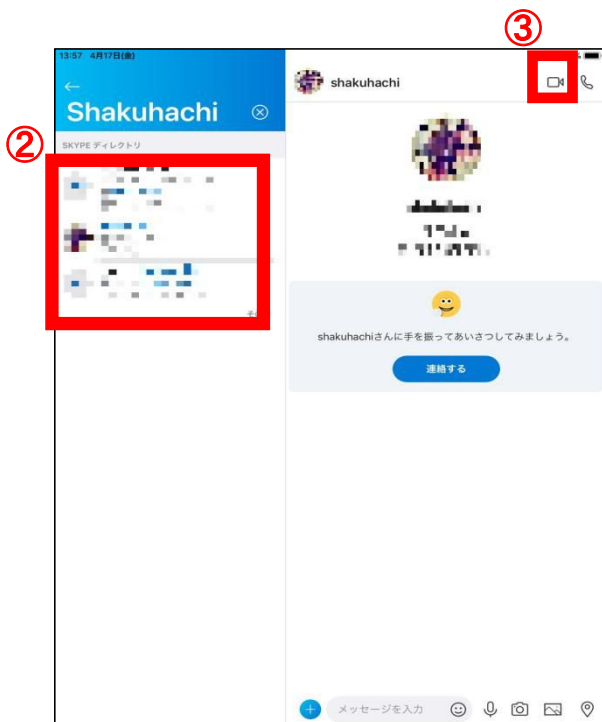
※文字メッセージ画面へは「トーク」をタップすると行けます

S : Skype でのビデオ通話の仕方

(※iPad 版の画面です。実際は OS や機器によって表示が異なる場合があります。)



① 画面上の検索ボックスへ検索したい人の Skype 名を入力します



② 検索の結果、見つかった人が表示されます
※表示されないときは該当なしです。
Skype 名の間違いや、Skype 名とプロフィール名の取り違えが考えられます
※該当する人が複数いる場合は複数表示されます

③ 検索結果から目的の人をタップしてビデオ通話のマークをタップします

よくあるトラブル・原因・対処法

●音が出ない

- 機器本体の音量が下がっている→機器本体の音量を調整してください
- 外部接続機器(スピーカー・イヤホンなど)の電源が入っていない・プラグがしっかり刺さっていない→電源・プラグを確認してください

●こちらの音が向こうに聞こえない

- マイクがミュート(無効)になっている→下図を参考に、マイクボタンをタップして下さい

●こちらの画面が向こうに映らない

- カメラがミュート(無効)になっている→下図を参考に、カメラボタンをタップして下さい

●こちらの音が向こうで割れて/こもって聞こえる

- 機器・マイクとの距離が近すぎる→画面から離れてください
- マイク付きイヤホンを使っている→マイクのついていないイヤホンを使うか機器側でマイクをオフにしてください
- 機器を音のこもる場所に置いている→周囲に障害物、反射物のない場所へ移動させてください



●雑音が混じる

- マイク付きイヤホンのマイクが服に触れている→マイクの位置を調節してください

●ブツブツと途切れる

- 通信が安定していない→Wifi の電波の良いところへ移動するか、一度接続を切って、再度接続しなおしてください。



Skype の画面。左がマイクボタン、真ん中がカメラボタン。ボタンが明るいとき ON、暗いとき OFF。図ではマイク ON/カメラ OFF の状態。



LINE の画面。左から 2 番目がマイクミュート(無効化)ボタン、右から 2 番目がカメラミュートボタン。ボタンが明るいとき無効、暗いとき有効。図ではマイク ON/カメラ OFF の状態。

セッティングの例とコツ

[図1]のようにセッティングすると[図2]のように楽器・体を正面からきれいにとらえた映像・音を送ることができます。

[図3]のように、普段使用するように机の上などに置いて斜めから映す・見るようにすると、相手からは[図4]のように見えてしまいます。

■機器(カメラ)を身体の正面に向ける

※三脚でなくても構いませんので、テーブルや台を使って高さ・角度を調整しましょう。

■機器に近づきすぎない

※相手方で音が割れたり、音が不均一に聞こえるなど弊害の原因になります。

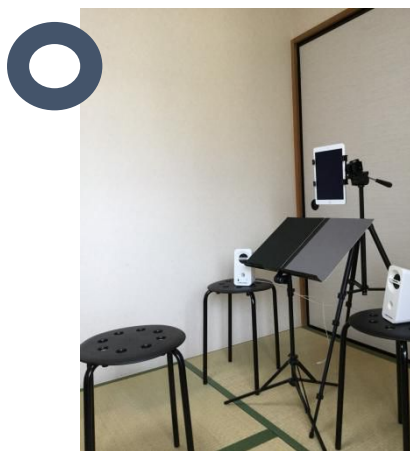
※音声が聞こえにくい場合は必要に応じてスピーカーやイヤホンを接続すると良いです。

■第1孔～顔までが正面から画面に収まるように調整する

※普段のビデオ通話のような感覚だと、顔ばかり映って手孔(特に1、2孔)が映っていないということがあります。

※楽器全体が映る位置をベースにして、大きく映したい・見たい時には人間がカメラに近づいて必要な所を大きく映すというやり方が良いです。

※カメラ孔の位置に注意。画面の中心がカメラ孔ではありません。



[図1]



[図2]



[図3]



[図4]